

やさしくしたいな

那覇市立天久小学校一年 知念 慶

ぼくはかぞくで、へいわきねんしりようかんへいったよ。そして、おかし、おきなわでおこったせんそうをみたよ。

あしのしたにがらすがあつてほんもののみさいるがうまっていたよ。ぼくのいもうととおなじくらの大きさもあつて、びっくりしたよ。これがいっぱいおちてくるなんてこわいな。ぼくのおうちもぼくはつしちゃうかもしれない。

せんそうのおとをきいたよ。

「どん、どどーん。」

きいたことがないくらい、大きなぼくだんのおとがしたよ。ぼくはみみをふさいだよ。とってもこわかったよ。

「これがおきなわなの。」

ときいたら

「そうよ。」

とおかあさんはいった。ふしぎなかんじがしたよ。ぼくはつでまっくろなまち。それがぼくのしまだなんてしんじられなかったよ。かなしかったよ。ぜんぶこわくて、にげだしたかったよ。

おかあさんとみた一まいのしゃしん。おにいさんが、おばあさんをおんぶしてにげていたよ。たすけてくれたのかな。やさしいね。ぼくは、うれしいきもちになったよ。たすけるって、かっこいいね。ぼくも、こまっている人をたすけたいな。みんなにやさしくしたいな。

ぼくは、四がつに一ねんせいになった。でも、あさがっこうに行くとき、ないちやうことがあるんだ。そしたら、きょうしつで、おともだちがこういつてくれるよ。

「だいじょうぶ。」

ぼくは、うれしくてげんきがでたよ。

へいわつて、やさしいきもちのことかな。へいわつて、だれかをたすけることかな。へいわつて、いいね。へいわがつづきますように。ぼくも、みんなにやさしくするよ。こまっているひとをたすけるよ。